



KPS SERIES

ネットワーク接続ガイド

目次

目次	3
イントロダクション	4
シングルアンプシステム	5
マルチアンプシステム	7
修理・保証について	11

イントロダクション

本ガイドブックでは、内蔵イーサネット接続を使用して KPS シリーズアンプを管理する方法を説明しています。シンプルなシステム（アンプ 1 台のみ）と、より複雑なシステム（アンプを複数台使用）のどちらも網羅しています。すべてのケースにおいて、認証、接続、設定までの手順は RDSPACE コントロールソフトウェア上で行います。



KPS アンプは工場出荷時に静的 IP アドレス 192.168.64.100 を有線接続用に、192.168.4.1 を Wi-Fi 接続用に割り当てられています。



アンプ内蔵アクセスポイントを経由してワイヤレス接続する場合、デバイスが近くにあり、デバイスとの間に信号を減衰または遮断する物理的な障害物がないことを確認する必要があります。このため、ユニットがすでにラックに取り付けられ配線されている場合や、技術室内に設置されている場合には、この接続方法は推奨されません。

シングルアンプシステム

シングルアンプシステムで最もシンプルな構成メソッドは、内蔵の Wi-Fi アクセスポイントを経由するワイヤレス接続です。この構成の場合、デバイスとの直接のインターフェースが可能です。この構成の設定は、RDSpace ソフトウェアを使用して行います。

有線接続にも対応しています。以下、両方の接続方法を説明します。

ワイヤレス接続

KPS アンプを TCP/IP ネットワークにワイヤレス (Wi-Fi) で接続する場合、以下の手順を参照してください。

1. アンプを同梱の電源ケーブルを使用して電源に接続します。
2. アンプのフロントに搭載されている電源ボタン (KPS 802 | KPS 802D | KPS 804 | KPS 804D | KPS 808 | KPS 808D にのみ搭載) を使用してアンプの電源を入れます。
3. フロントパネルの **Wi-Fi** インジケータが緑に点灯するまで待ちます。
4. モバイルデバイスやラップトップ / デスクトップ PC を使用し、利用できる Wi-Fi ネットワークを検索します。「**RCF [モデル名] [アクセスポイント ID]**」という名前のネットワークに接続します。パスワードは「**password**」です。

右図の例の場合、接続するネットワークは「**RCF KPS 164D 2218-00025**」で、アクセスポイント ID は「**2218-00025**」です。



アクセスポイント ID はアンプのリアパネルに位置するラベルに記載されています。ID の構造は以下のとおりです。

2218XXXXXX00025

- 初めの 4 桁の数字はアクセスポイント ID の上 4 桁です。
- 次の 6 桁の数字と Y はアクセスポイント ID ではありません。
- 最後の 5 桁の数字はアクセスポイント ID の下 5 桁です。

注：アクセスポイント ID は製品のシリアル番号とは異なります。



5. ここから以下のことが可能になります：

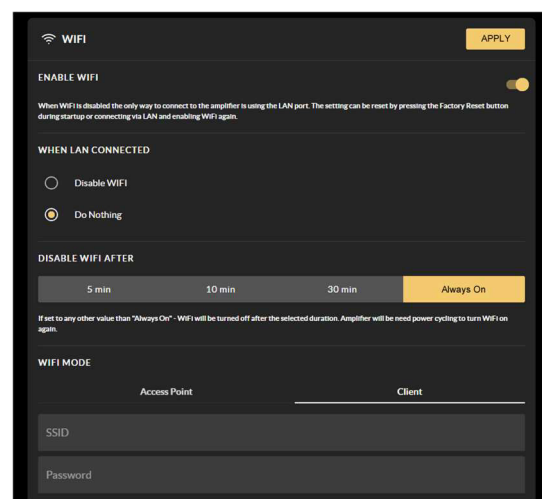
- a. RDSpace デスクトップアプリ (ラップトップ / デスクトップコンピューターのみ対応) を起動する
- b. ウェブブラウザを開き、<http://192.168.4.1> にアクセスする

いずれの場合にも、コントロールインターフェースが表示され、必要に応じたアンプの設定を行うことができます。

6. RDSpace インターフェース上で、**Settings > WiFi > WiFi Mode** に進み、「**Client**」を選択します。ここで希望の Wi-Fi ネットワークへのアンプの接続を構成することができます。ネットワークの SSID とパスワードが必要です。



アンプの Wi-Fi アクセスポイントパスワードは、初めの接続が成功したあと、安全性のためパスワードを変更することを推奨します。



有線接続

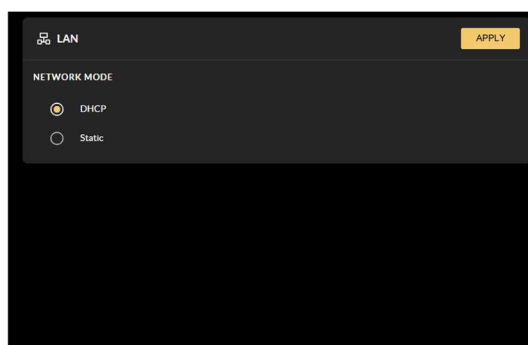
KPS アンプを TCP/IP ネットワークに有線（イーサネット）で接続する場合、以下の手順を参照してください。

1. イーサネットケーブルを使用し、アンプのリアパネルにある「LAN」ポートとネットワークルーターまたはスイッチのポートを接続します。または、ラップトップ / デスクトップ PC のイーサネットポートに直接接続します。
2. アンプを同梱の電源ケーブルを使用して電源に接続します。
3. アンプのフロントに搭載されている電源ボタン (KPS 802 | KPS 802D | KPS 804 | KPS 804D | KPS 808 | KPS 808D にのみ搭載) を使用してアンプの電源を入れます。
4. フロントパネルの **Network** インジケーターが緑に点灯するまで待ちます。
5. ラップトップ / デスクトップ PC を同一サブネット上の静的 IP アドレスに構成します。
例：192.168.64.10、サブネットマスク 255.255.255.0（またはプリフィックス / 24）、ゲートウェイ 192.168.64.1
6. ここから以下のことが可能になります：
 - a. RDSpace デスクトップアプリを起動する
 - b. ウェブブラウザを開き、<http://192.168.64.100> にアクセスする

いずれの場合にも、コントロールインターフェースが表示され、必要に応じたアンプの構成を行うことができます。

デフォルトでは、KPS アンプは固定 IP アドレスで構成されています。この設定は RDSpace の **Settings** > **LAN** の項目で変更することができます。また、DHCP を有効にすることもできます。DHCP を使用する場合、DHCP を選択したあとに APPLY ボタンを押して設定を保存します。

DHCP が有効になっている場合、ネットワークルーターはアンプに自動的に IP アドレスを割り当てます。これにより自動的にネットワークに接続されます。必要に応じ、IP スキャナーなどのアプリを使用してアンプに付与された IP アドレスを特定します。



ウェブインターフェース上で構成する場合、DHCP に設定されたアンプの電源が一度 OFF から再度 ON になると、ルーターがアンプに新しい IP アドレスを割り当て、過去の設定ページにアクセスできなくなる場合があります。このような場合、IP スキャナーなどのアプリを使用し、新しい IP アドレスを特定してください。



アンプのリアパネルに位置する 2 つ目のネットワークポート（D モデルのみ対応）は、Audio Dante AoIP ネットワーク接続専用で、アンプコントロールには使用できません。

マルチアンプシステム

複数のアンプを使用するシステムでは、多様な構成メソッドが利用可能なため、現場に合わせたアプローチをとることができます。

ワイヤレス接続

各アンプを個別に Wi-Fi 接続することが可能です。この場合、シングルユニットシステムの項に記載の方法を参照し、接続を行ってください。

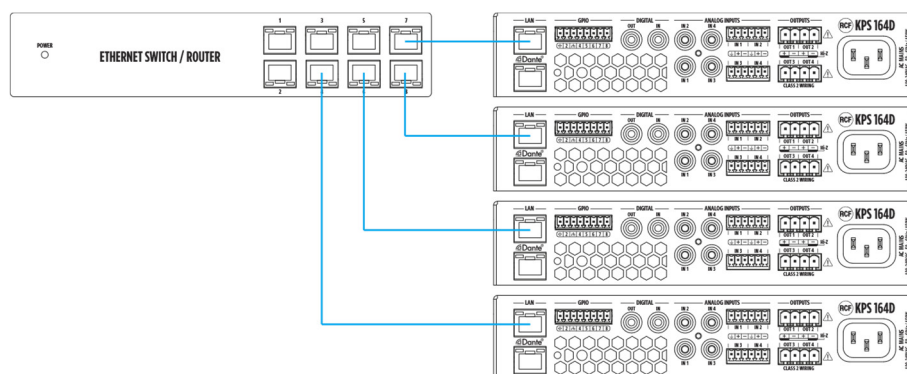
デバイスは同一ネットワークに接続している必要はなく、各アンプが個別のシングルユニットシステムとして扱われます。

このワイヤレス接続は非常にシンプルで、高度な IT 知識を必要とせず幅広く多用途にコントロールすることができます。一方、この接続方法の場合はシステム全体の包括的なオーバービューを見ることはできません。このアプローチは、ユニット数が限られており、また各アンプが物理的に近距離にあるようなシチュエーションで推奨されます。

有線接続

このシステム設計はより複雑ですが、大規模システムの管理をすることができ、さらにシステム全体の包括的なオーバービューを確認することができます。また、より精密なコントロールも可能になります。

下図に示したシナリオでは、全てのアンプがネットワークスイッチに接続されています。この図では、4 台の KPS164D アンプを使用しています。



この構成では、全てのアンプが同じ工場出荷時のデフォルト IP アドレスである 192.168.64.100 に接続されています。これはネットワークコンフリクト（IP アドレスの衝突）を発生させるため、各アンプに個別の IP アドレスを付与する必要があります。各アンプに個別の IP アドレスを割り当てると、システム全体の構成が可能になります。

A. Wi-Fi を経由したネットワークアドレスの割り当て

以下の手順によりアンプ内蔵 Wi-Fi アクセスポイントを利用できます。

1. アンプを同梱の電源ケーブルを使用して電源に接続します。
2. アンプのフロントに搭載されている電源ボタン (KPS 802 | KPS 802D | KPS 804 | KPS 804D | KPS 808 | KPS 808D にのみ搭載) を使用してアンプの電源を入れます。
3. フロントパネルの **WiFi** インジケータが緑に点灯するまで待ちます。
4. **初めのアンプを接続します。** この際、モバイルデバイス、ラップトップ、またはデスクトップコンピューターを使用し、利用可能な Wi-Fi ネットワークをスキャンし、「RCF [モデル名] [アクセスポイント ID]」という名前のネットワークを使用します。パスワードには「password」と入力します。

5. ここから以下のことが可能になります：

- RDSpace デスクトップアプリ（ラップトップまたはデスクトップコンピューターのみ対応）を起動する
- ウェブブラウザを開き、<http://192.168.4.1> にアクセスする

いずれの場合にも、コントロールインターフェースが表示され、必要に応じたアンプの構成を行うことができます。

6. インターフェース上で、Settings > LAN に進み、設置に合わせたネットワークパラメーターに進みます。

- IP Address
- Network Mask
- Gateway

「APPLY」ボタンをクリックし、設定を保存します。

構成例：

IP Address: 192.168.64.13

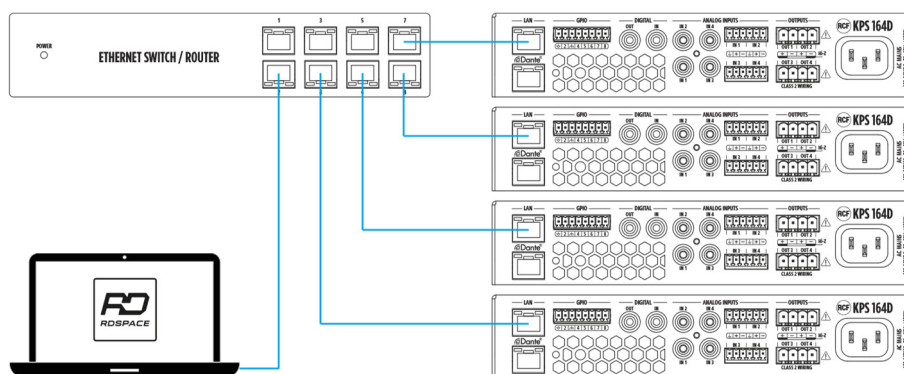
Network Mask: 255.255.255.0

Gateway: 192.168.64.1

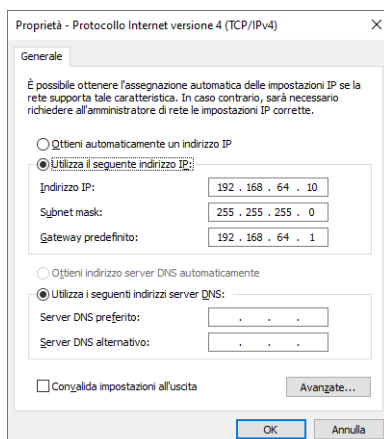
アンプには識別可能な名前をつけることを推奨します。これにより、今後の設定時にアンプの識別が簡単になります。名前を変更するには、Setting > System Information > Device Name に進みます。

7. 手順 4 から 6 までをシステム内の各アンプに行います。

8. イーサネットケーブルを使用し、コントロールラップトップ / デスクトップ PC をスイッチに接続します。Wi-Fi ルーターを使用する場合は、Wi-Fi を使用して接続してください。



9. アンプと同じ範囲の IP アドレス、同じサブネットマスクとゲートウェイを使用して、コントロールデバイスを設定してください。



10. RDSpace デスクトップアプリを開きます。

11. 全てのアンプが検知され、システムオーバービュー画面の左側に表示されます。

B. 有線接続によるネットワークアドレスの割り当て

この手順は、アンプに接続されているイーサネットケーブルのみが外れた状態を初期状態として想定しています。以下の手順で進めてください。

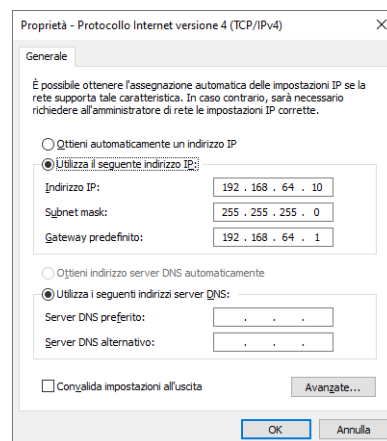
1. イーサネットケーブルまたは Wi-Fi ルーターを使用した Wi-Fi を使用し、コントロールラップトップ / デスクトップコンピューターをネットワークスイッチに接続します。
2. コントロール PC に、アンプの工場出荷時のデフォルト設定である IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力して設定します。

設定例：

IP Address: 192.168.64.13

Network Mask: 255.255.255.0

Gateway: 192.168.64.1



3. イーサネットケーブルを使用して初めのアンプとスイッチを接続します。
4. ここから以下のことが可能になります：
 - a. RDSpace デスクトップアプリ（ラップトップ / デスクトップコンピューターのみ対応）を起動する
 - b. ウェブブラウザを開き、<http://192.168.4.100> にアクセスする

いずれの場合にも、コントロールインターフェースが表示され、必要に応じたアンプの設定を行うことができます。

5. インターフェース上で、Settings > LAN に進み、設置に合わせたネットワークパラメーターに進みます。
 - “IP Address”
 - “Network Mask”
 - “Gateway”

「APPLY」ボタンをクリックし、設定を保存します。

6. **イーサネットケーブルを使用し、次のアンプとスイッチを接続します。**
7. 手順 4 から 5 をシステム内の全てのアンプに行います。
8. コントロール PC に、アンプと同一の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力して設定します。
9. RDSpace アプリ上に全てのアンプが検出され、システムオーバービュー画面の左端に全てのアンプが表示されていれば完成です。

修理・保証について

修理について

日本国内仕様の RCF 製品の修理は、音響特機株式会社または提携サービスセンターで行っています。修理やメンテナンスが必要な場合は、以下の手順でご依頼ください。

1. 弊社ホームページ（www.otk.co.jp）の「修理依頼」ページより「REPAIR カード」をダウンロードしてください。
2. 「REPAIR カード」に必要事項をご記入の上、FAX（03-5534-6783）もしくはメール（repair@otk.co.jp）にて「REPAIR カード」をお送りください。
3. 修理受付番号と製品送付先のサービスセンターを記載した修理受付表を折り返し FAX もしくはメールにてお送りいたします。
4. 梱包した本製品と修理受付表のコピーをサービスセンターへ返送ください。当社では輸送上のダメージを保証できません。

修理の注意点

- ・本書と付属品は同梱不要です。
- ・修理受付番号のない修理品は受付できません。必ず修理受付番号が記載された修理受付表のコピーを同梱してください。また、送り状の品物欄にも修理受付番号と商品名、製造番号を記載してください。
- ・修理状況によっては見積もり金額が変動する場合があります。
- ・修理をキャンセルした場合、キャンセル料が発生する場合があります。

保証について

本機の保証期間はご購入日より 1 年です。保証期間内に正常な使用状態で本体に不具合が生じた場合、正規のサービス担当者が無償で修理を行います。ただし、下記の場合は保証期間内でも有償修理となります。

- ・ご購入後の輸送 / 移動 / 落下 / 異物液体混入などによる故障および損傷
- ・ご使用上の誤りおよび弊社の認可していない修理や改造による故障および損傷
- ・火災、煙害、ガス害、地震、落雷、風水害などの天変地異、あるいは異常電圧などの外部要因による故障および損傷
- ・本機に接続している機器及び消耗品に起因する故障および損傷
- ・正常な状態でのご使用中でも、自然消耗、摩耗、劣化によって故障あるいは損傷が生じた場合
- ・日本国外でご使用中の故障、損害

サポートについて

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせ

音響特機 RCF カスタマーサポート

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 10-1 CSS ビルディング 5F

FAX: 03-3639-7801

Email: rcf-support@otk.co.jp

故障 / 修理や保守についてのお問い合わせ

音響特機サービスセンター

〒136-0083 東京都江東区若洲 2-6-6 千住倉庫 1 階 B 棟

株式会社日本システムサービス内

FAX: 03-5534-6783

Email: repair@otk.co.jp

営業日：月曜日～金曜日 9：00 ～ 17：30

休業日：土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季

